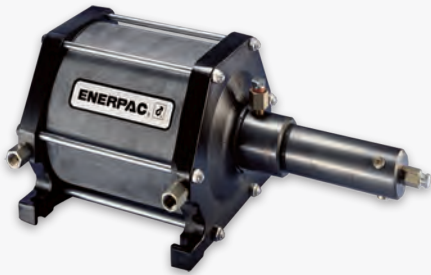


油圧シリンダ
エアポンプ
油圧バルブ
アクセサリ
油圧プレス
油圧工具
機械式シャッキ
油圧クランプ
資料

▼ AHB-46



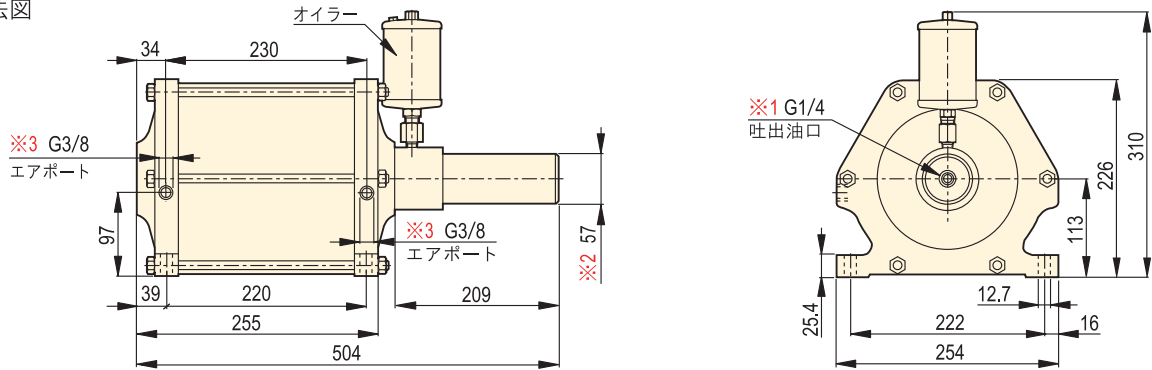
特長

- 耐久性に優れた複動式ワンショット型エアハイドロブースタです。
- ファイバーガラス製のエアシリンダチューブは、水分を含んだエアで発生する錆びを防ぎます。
- 高速作動対応型で無負荷時に大容量の吐出油をシリンダへ供給できます。
- 自動化された設備に最適なエアハイドロブースタです。
- ブースタ本体は水平と垂直に設置できます。

注意

- エア供給ラインにエアブリゲータを使用してください。ルブリゲータからの潤滑量が多いと故障の原因となりますので、エア潤滑量は超微量に絞って下さい。(1日で1滴位が目安です。)
- 吐出油量が正常に出なかったり、圧力保持ができないことを避けるために、配管やシリンダ内のエア抜きを十分に行ってください。
- オイラーの油量が見えるように設置してください。ブースタの吐出量分だけオイラーの油面は上下に移動します。シリンダへ油が吐出された時に、オイラーの油を満杯まで補充すると、ブースタへ油が戻された時に、吐出量の油がオイラーから溢れ出るので注意してください。

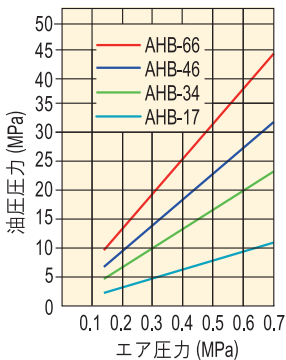
▼ 寸法図



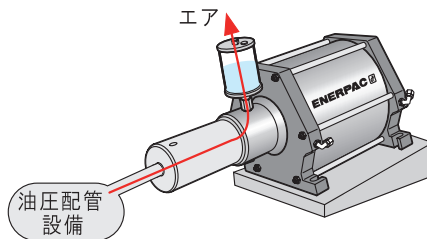
※1 1/4NPT 変換アダプター標準装備 ※2 型式 AHB-17 φ71.9mm ※3 3/8NPT 変換アダプター標準装備

仕様・設置方向

▼ 発生油圧表

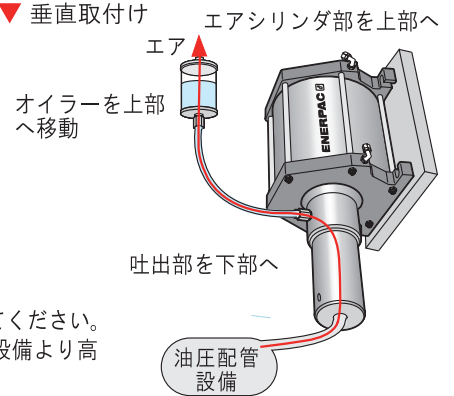


▼ 水平取付け



- エアシリンダ部分を少し高くなるように傾けて設置してください。
- 使用しながら自然にエア抜きをするために、油圧配管設備より高い位置に設置してください。

▼ 垂直取付け



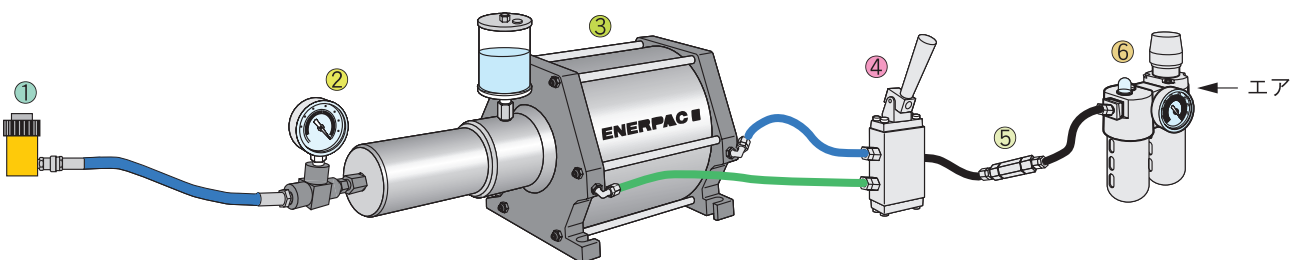
▼ 仕様表

型式	吐出油量 ※1 (cm ³)	増圧比 (エア圧 : 油圧)	発生油圧 エア圧力 0.7MPa 時 (理論値) (MPa)	エア消費量 エア圧力 ※2 0.7MPa 時 (m ³)	エア ピストン径 φ (mm)	油圧 ピストン径 φ (mm)	ピストン ストローク (mm)	使用エア 圧力範囲 (MPa)	質量 (kg)
AHB-17	295	1 : 16	11.2	0.072	203	51	145	0.1 ~ 0.7	18.8
AHB-34	140	1 : 34	23.8	0.072	203	35	145	0.1 ~ 0.7	16.8
AHB-46	100	1 : 46	32.2	0.072	203	30	145	0.1 ~ 0.7	16.4
AHB-66	73	1 : 64	44.8	0.072	203	25.4	145	0.1 ~ 0.7	16.0

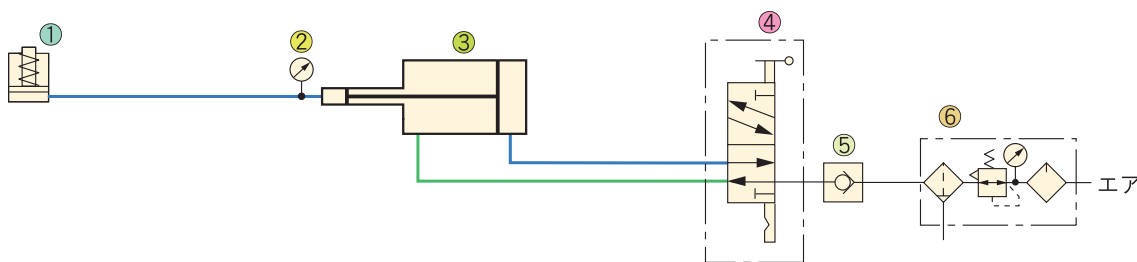
※1 圧力保持時間を考慮して、使用シリンダと配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の70% ~ 80%のを超えない範囲で使用して下さい。
※2 前進ストローク+戻りストローク(1往復)のエア消費量

AHB 型エアハイドロブースタ使用例(単動油圧シリンダ)

- ①単動油圧シリンダ ※ ②圧力計 ③AHB 型ブースタ ④エア切換弁(手動・電磁弁) ⑤チェック弁
- ⑥エアフィルタレギュレーター・エアブリゲータ



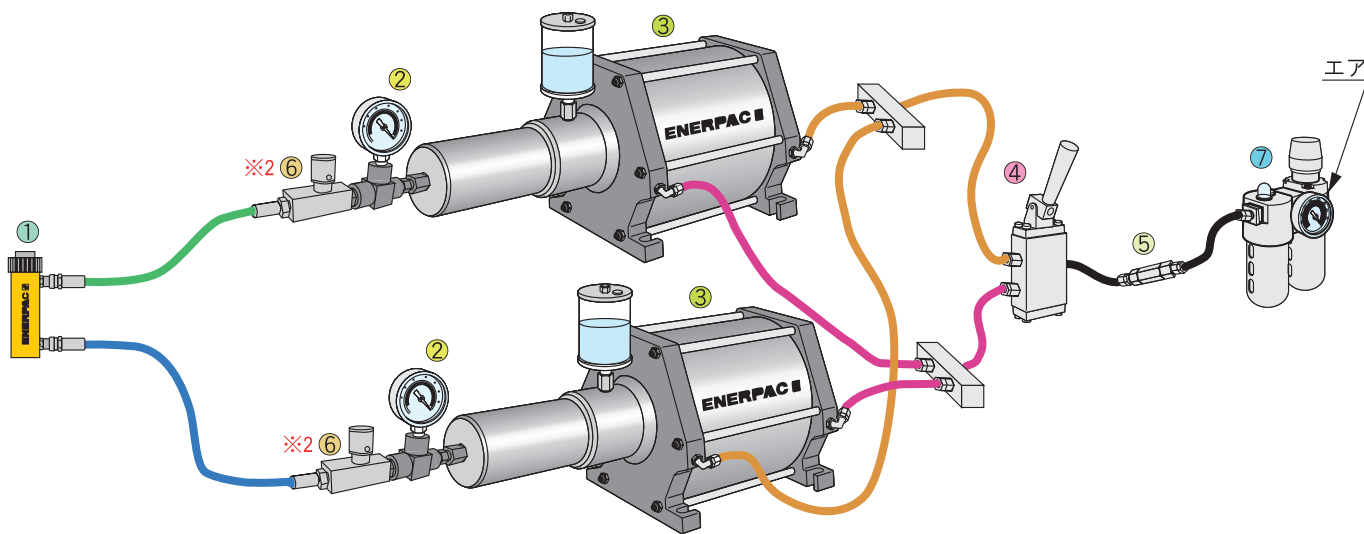
▼ 単動シリンダ用参考回路図



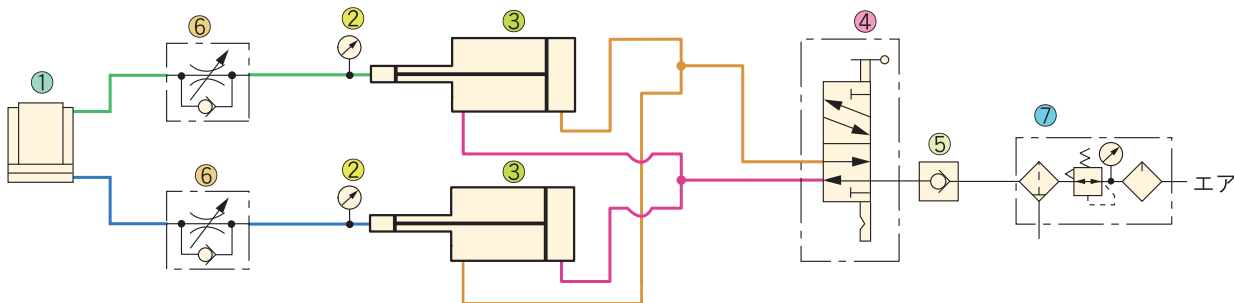
※ 使用シリンダ本数と配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の70%～80%の範囲を超えないようにしてください。

AHB 型エアハイドロブースタ使用例(複動油圧シリンダ)

- ①複動油圧シリンダ ※1 ②圧力計 ③AHB 型ブースタ ④エア切換弁(手動・電磁弁) ⑤チェック弁 ⑥流量制御弁
- ⑦エアフィルタレギュレーター・エアブリゲータ



▼ 複動シリンダ用参考回路図



※1 使用シリンダ本数と配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の70%～80%の範囲を超えないようにしてください。
 ※2 押側ブースタの流速より引側ブースタの流速が遅くなるように、流量制御弁⑥を回路図のように使用して調整してください。

油圧シリンダ

エアポンプ

油圧バルブ

アクセサリ

油圧プレス

油圧工具

機械式ジャッキ

油圧クランプ

資料